

令和4年度全国保健所長会総会 健康局長挨拶

令和4年10月6日（木）
（HP 掲載）

令和4年度全国保健所長会総会の開催、誠におめでとうございます。

全国保健所長会の皆様方には、厚生労働行政全般にわたり、平素から格段のご理解とご協力を賜っておりますことを、厚く御礼申し上げます。

また、今般の新型コロナウイルス感染症対応において、保健所の皆様が地域の最前線で、昼夜を問わずご尽力されておりますことに、改めて感謝申し上げます。

厚生労働省では、新型コロナウイルス感染者数増に伴う保健所等の業務負担を軽減するため、保健所等への専門人材派遣の仕組みである、IHEAT（アイヒート）の積極的な活用や、業務の外部委託や本庁等による一元化を原則とした体制の整備等をお願いしているところです。

また、高齢者等重症化リスクの高い方を守ることに重点を置くため、全数把握を見直し、発生届出の対象を限定することといたしました。

引き続き業務の効率的な実施に向け、皆さまのお声を伺いながら必要な支援を行ってまいります。

さて、本年9月2日の政府の新型コロナウイルス対策本部において、次の感染症危機に備え、感染の初期段階から、より迅速に、より効果的に対策を講ずるための機能強化や保健・医療提供体制の方向性に係る具体的対応が定められました。

地域保健関係では、保健師等の専門家が保健所業務を支援する IHEAT の仕組みを整備することや、地方自治体において、地方衛生研究所等の専門的知識・技術を必要とする調査研究・試験検査等を行うための体制を整備すること等が示され、速やかに必要となる法律案の提出を図ることとされています。

最後に、厚生労働省行政への皆様方の引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、全国保健所長会のますますのご発展並びに皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

令和4年10月6日

厚生労働省健康局長 佐原 康之